

親子自然体験

令和 6年 10月 27日(日)

茨城県朝日里山学校で、芋ほりと縄ない体験・バーベキューをして、いばらきフラワーパークにも行ってきました。参加者の感想を一部紹介します！

「さつまいもほりをして、いっぱい虫がいておどろきました。」「フラワーパークではいろいろな花があり、きれいでした。」「また行きたいです！」



「しぜんが大好きだから、ふれあえてうれしかった。」



「おいもをいっぱい、でかいのとれてうれしいです。」



「縄ない、おもしろかった!!」

新宿区青少年活動推進委員会の活動紹介

令和 6年度 自主研修会報告

令和 6年 11月 11日(月)

今回の研修は小田原方面に行きました。出発時は天候に不安があったものの、私たちのパワーで秋日和となりました。まず、大きな下駄が印象的な大雄山最乗寺を見学し、小田原市の歴史的建物の日本料理店「だるま」を訪ねました。そして、小田原城を見学し歴史を学びました。とても有意義な研修でした。



第 66 回 全国社会教育研究大会

令和 6年 10月 24日(木)～25日(金)

今回の大会スローガン『彰往考来～人をつくり人をつなぎ地域をつくる未来の社会教育～』をもとに、初日は、地元の名字研究家の講演の後シンポジウムがありました。二日目は分科会「家庭教育の充実支援」で、鹿島市の家庭教育支援チームの取組などを聴き、どの内容も参考になりました。



令和 6年度 委員研修会報告

令和 7年 2月 12日(水)

今回の委員研修会では、新宿区立子ども総合センターの住谷氏に講演いただき、子どもの心理的な発達過程や発達特性、その育ちを支えるかかわり方を学びました。



農業体験の様子

4月に「ここ・から広場」にて始まった農業体験は、11月24日の収穫祭で自分たちが作ったお米や野菜をおいしくいただき、終了しました。



肥料散布…土づくり



みんなで種まき…収穫まで



新宿区内で稲刈り!

令和 7年度も農業体験の参加者を募集します!

詳しくは令和 7年 4月頃に配布されるチラシや区のHPをご覧ください。

お問合せ

新宿区青少年活動推進委員会では「あ・そ・ま・な」に対するご意見、ご感想や情報提供を電話・ファックスにて受け付けております。お気軽にお寄せください。

TEL: 03-3232-0695

FAX: 03-3232-0666

発行日: 令和 7年 3月 11日

編集: 新宿区青少年活動推進委員会

発行: 新宿区青少年活動推進委員会事務局 〒160-0022 新宿区新宿七丁目3番29号

新宿区立子ども総合センター3階 子ども家庭支援課子育て支援係

新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。本誌は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。



※写真・イラストの無断転載を禁止します。

「あ・そ・ま・な」は新宿区青少年活動推進委員会が発行する、親子と一緒に「あそんで」「まなべる」情報誌です。

発行: 令和 7年 3月 11日 春号

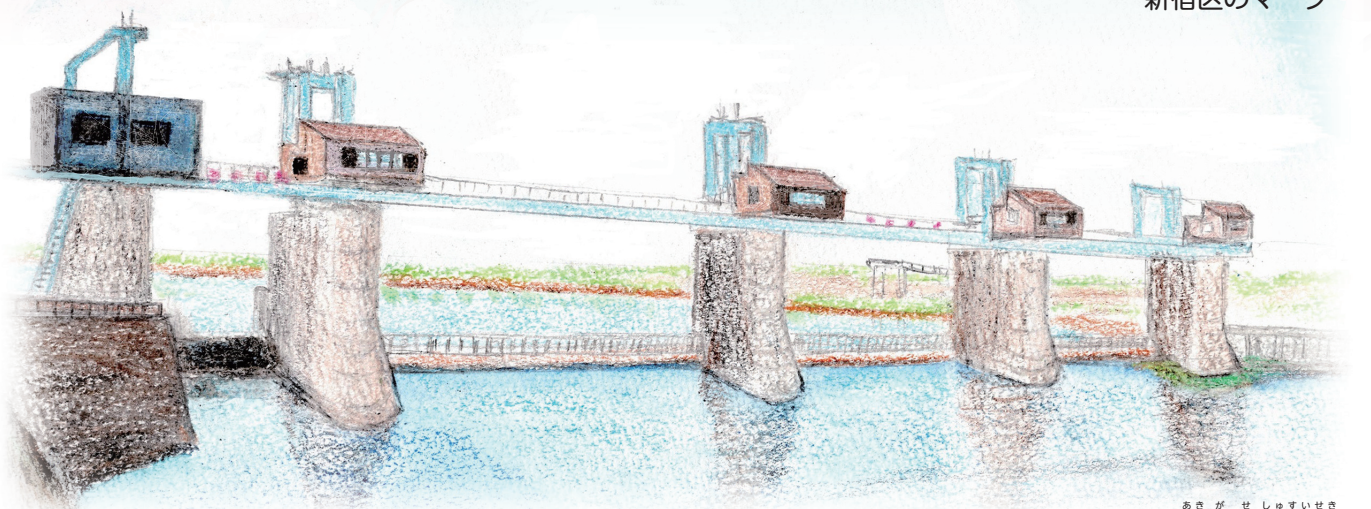
あ・そ・ま・な



新宿区の水道水はどこから来るのかな



新宿区のマーク



秋ヶ瀬取水堰

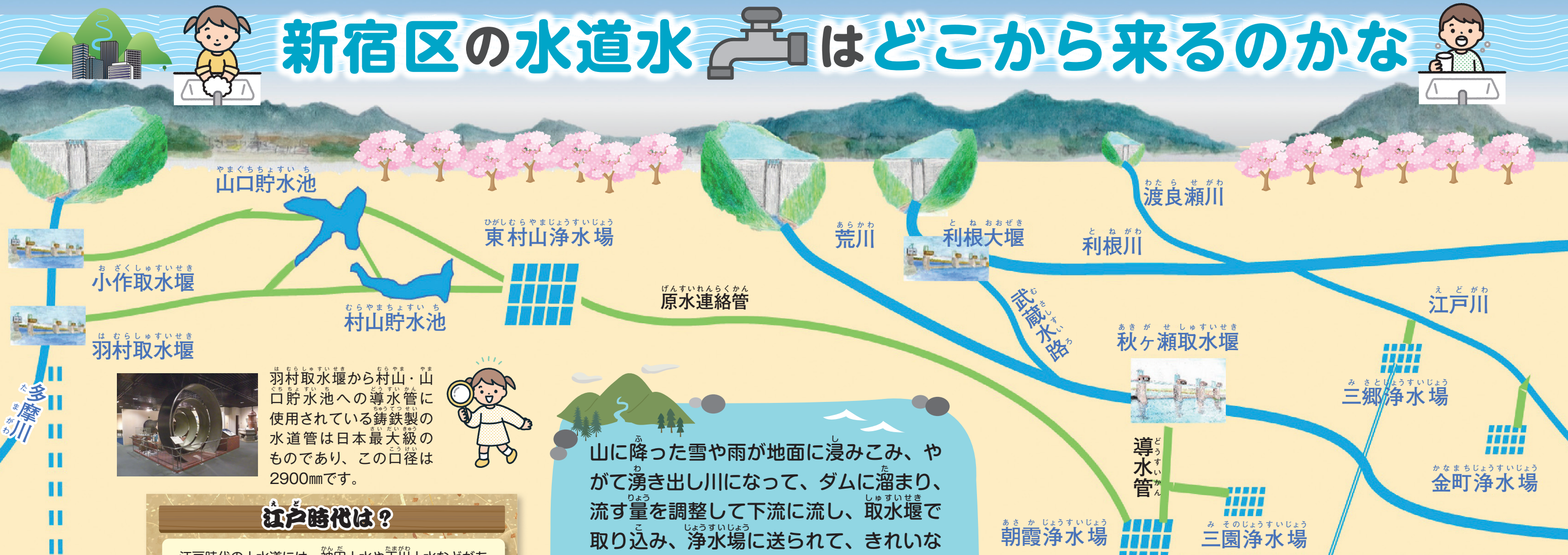


給水所 (野方配水塔)



過去のあ・そ・ま・なはこちらから見られます(区ホームページ)

新宿区の水道水 はどこから来るのかな



玉川上水
四谷大木戸水番所

江戸時代は？

江戸時代の上水道には、神田上水や玉川上水などがありますが、新宿区と関わりが深いのは、承応3年(1654)に江戸市中に水を送るために作られた玉川上水です。多摩川の羽村から四谷大木戸水番所(現在の四谷区民センターの場所)までの43kmは地上を川のように流し、その先の江戸市中へは地下に石や木でできた水道管(石樋・木樋)を通して配水しました。

上水井戸は共同で使用していたよ。各家庭では井戸から水を汲み、桶や「かめ」にためて生活に利用したんだ。



発掘された上水井戸と木樋



江戸の上水井戸の様子の模型

現在の水道設備のように配水管、給水管の役割を果たすために、様々な大きさや形の木樋が「駒の頭」と呼ばれる継手材などによって連結されて上水井戸へと給水されました。また、水の流れや汚れ具合を確認するために所々に水見枡を設け、その蓋を取って確認できる構造になっていました。これらの配水技術から、当時の技術水準の高さを知ることができます。

山に降った雪や雨が地面にしみこみ、やがて湧き出し川になって、ダムに溜まり、流す量を調整して下流に流し、取水堰で取り込み、浄水場に送られて、きれいな水となり家庭やビルに配られます。

新宿区の多くの地域では、秋ヶ瀬取水堰で取り込んだ利根川・荒川の水が、朝霞浄水場できれいな飲み水となって、皆さんのところに届けられています。霞ヶ丘町・中落合4丁目・上落合3丁目・西落合・中井では、江戸川の水が三郷浄水場を通して届けられています。

【参考資料】

- 東京都水道局 水道・くらしのガイド
- 東京都水道歴史館 常設展示
- 新宿歴史博物館 令和6年度特別展「江戸の水道 玉川上水」チラシ
- 新宿区立角筈図書館 (指定管理者：新宿・としょかん・ひとづくりグループ) 「角筈をあるく小さな旅 一角筈まちあるき 過去から現在、そして未来へー」

給水管により新宿区のビルや家庭に



超高層ビル群が建っている所に淀橋浄水場がありました

淀橋浄水場

東京の近代水道の始まりの地となった「淀橋浄水場」は、明治25年(1892)に着工し、同31年(1898)に完成しました。東京の近代化に大いに貢献し、歴史を重ねてきましたが、昭和35年(1960)に完成した東村山浄水場にその役割を譲り、昭和40年(1965)、67年に及ぶ歴史に幕を閉じました。役目を終えた浄水場跡地には、京王プラザホテルを皮切りに新宿住友ビル、新宿三井ビルディング、東京都庁など次々に建設された超高層ビル群がそびえています。